

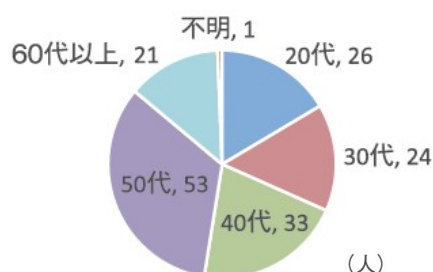
教職員の職場環境に関するアンケート調査結果

2018年5月
 京都光華女子大学・短期大学部
 女性キャリア開発研究センター

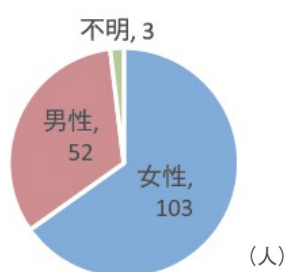
女性の活躍推進・働き方改革が社会的な課題となっていますが、職場としての女子大学・女子校はどのような課題を抱えているのでしょうか。こうした問題意識から、女性キャリア開発研究センターでは、本学園に勤務する教員・職員を対象に職場環境調査を行いました。質問項目は、「女性が職業をもつことについて」、「性役割分業意識」、「男女の地位の平等感」、「仕事と職場環境」、「男女ともに働き続けやすくなるために必要なもの」などです。以下に、集計結果の一部を紹介します。

・調査対象 光華女子学園（院・大・短・高・中・小・幼）に勤務する教員（常勤）、職員（常勤・非常勤）315名 回収数 158 回収率 50.2%
 ・調査期間 2017年3月～2017年4月

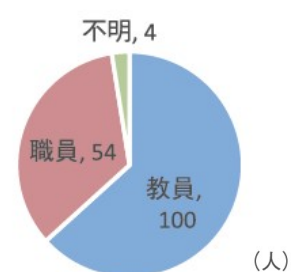
① 回答者の割合（年齢）



② 回答者の割合（性別）



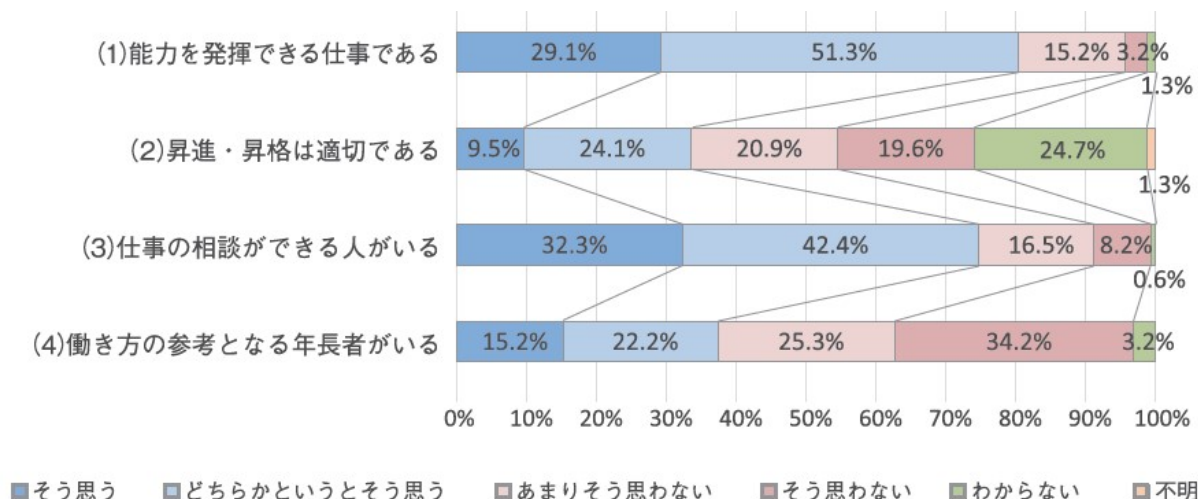
③ 回答者の割合（職種）



アンケート調査では、「あなたの現在の仕事」と「あなたが所属する職場の環境」の2つの観点から尋ねました。

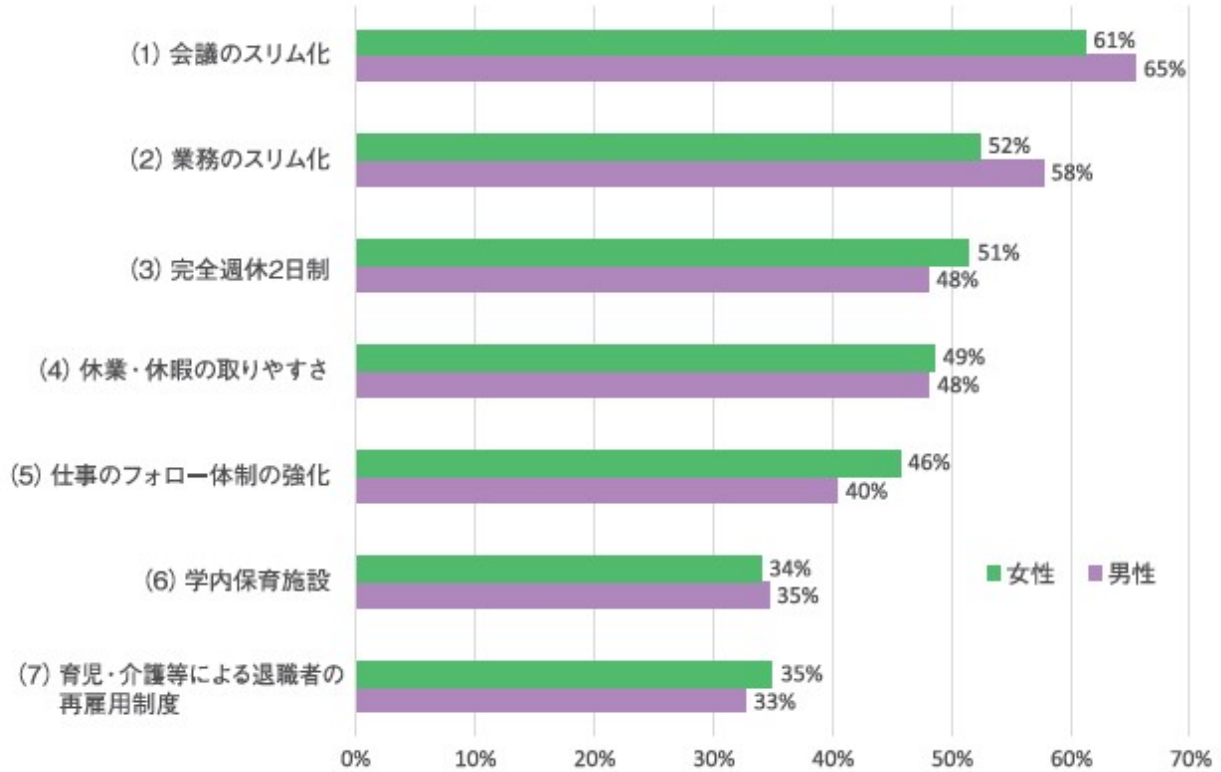
④ あなたの現在の仕事について

質問項目はあわせて42問でした。その中の4項目です。



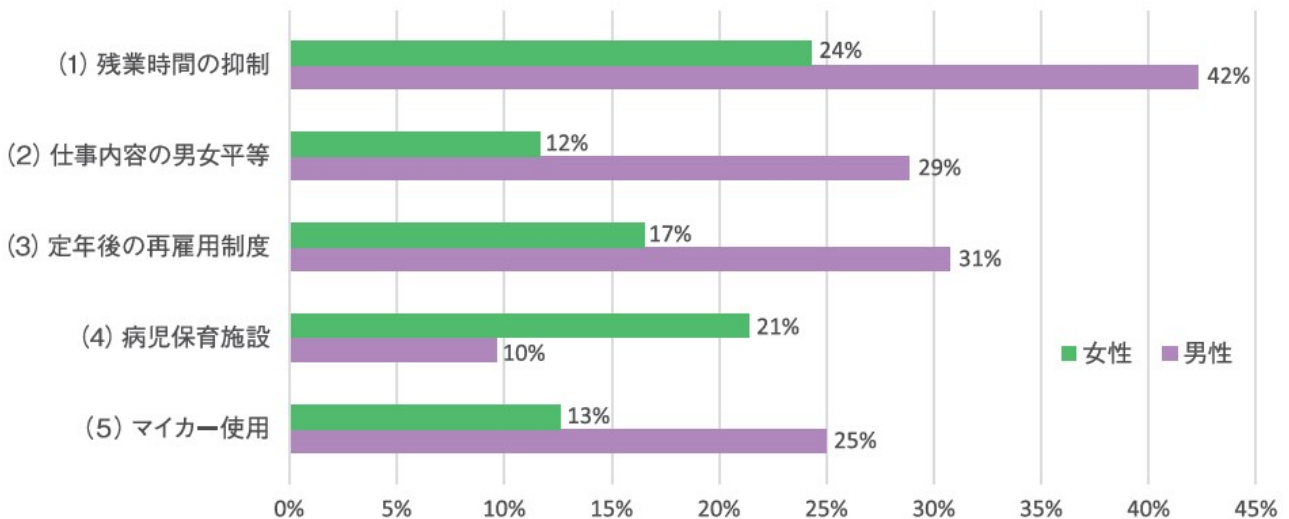
⑤ 男女ともに働きやすくなるために必要なもの（上位7項目）

男女ともに働きやすくなるために必要なものについて、25項目の選択肢から選んでもらいました（複数選択）。



⑥ 男女ともに働きやすくなるために必要なもの（男女差が大きかった項目）

⑥は、男女間で1割以上の差がみられた項目です。女性は男性に比べて「病児保育施設」を選択した人が多かったです。一方男性は女性に比べて「残業時間の抑制」、「仕事内容の男女平等」を選択しており、性別によって職務内容や仕事量に偏りが生じている可能性があることが明らかになりました。



以上の結果を学部・学科にフィードバックし検討を依頼したところ、要望の高かった項目については全学的に検討する必要がある、必要なもの・無駄なものを分析し早急に対処すべきだなどの意見が寄せられました。